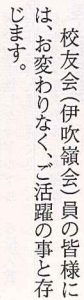


岐阜経済大学校友会
〒503-8550
大垣市北方町5-50
岐阜経済大学内
TEL〈0584〉77-3511
FAX〈0584〉81-7807

校友会長 安田良邦



三十一日、大惨事をもたらした東日本大震災から二年が経ちました。私は昨年も宮城県石巻市から仙台台まで復旧状況の視察に行きましたが、未だに多くの方が避難所生活をしており前の生活に戻りません。復興し、以前の生活に戻れるよう祈念いたしております。

さて、大学も伊吹頌会も、創設50周年に向かって歩んでいます。しかし、大学を取り巻く環境は、少子化や新たな大学の設立により、大学間競争も激しく、また、学生も都会への憧れがあり、特に地方の私立大学に厳しさが出ています。大学としても、社会や学生が要望する、時代のニーズに合ったカリキュラムに改編するなどして、新た

の経緯を踏まえ、岐阜経済大学の公立大学法人化を実現すべく「母校興隆に関する提言書」として提案し、全面的にバックアップをしていますので、会員の皆様も公立大学法人化にお力添えをいただきますよう、お願いいたします。

さて、昨年は伊吹領会三重支部が誕生しました。岐阜県・静岡県・滋賀県に続く四番目の支部であり、設立に尽力されました関係者の皆様に、心から敬意を表します。今後、各県支部設立の支援をしていきますので、積極的な設立活動をお願いします。

今年は巳年です。巳は脱皮しながら成長をしていくため縁起が良いたと言われています。巳年にあがって、大層は伊吹嶺も飛躍の年になるよう、一丸となって頑張りますよ！

校友の皆様へ、ゼミ、クラブ、職域団体等のOB会の開催についてお知らせいたします。一定の条件を満たした校友グループがOB会を企画し、開催したいと1年のうち1度に限り、祝い金等をお渡しいしすることが可能です。一年一度の規約改正により補助等が手厚くなり、さらに開催していただくやすくなりました。また、OB会の会場として大学の教室等をご利用いただくことも可能です。

是非、この機会にOB会を企画・開催し、旧交をたためるとともに新しいつながりを築いてははいかがでしょうか。

助成希望のOB会および職域校友グループの代表の方は、校友会事務局（総務課：054-747-3505）までお問い合わせください。助成申請の際には、①活動内容を明らかにした案内状、②会則、③役員氏名、④名簿、⑤活動に要する経費明細書の5点をご用意いただくことが必要になります。

2012年度
活動実績

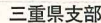
三重県支部設立総会(4月30日開催)
 静岡県支部定期総会(7月15日開催)
 大野貴司ゼミナールOB会(11月3日開催)
 岐阜市役所OB会(いちい会)(2月1日開催)

ラグビー部OB会(6月24日開催)
経済学部第二部第一回同窓生の会(10月14日開催)
ユースホステルクラブ(YHC)OB会(1月19、20日開催)
※ 大学に報告のあったもののみを掲載。

三三、前、三重県予丁の易の

昨年4月、三重県孤野町の湯の山温泉ホテルウエルネス鈴鹿路にて谷江幸雄学長、安田良枝校友友会会長らをご来賓に迎え、本校友会が出席する中、校友友会三重支部設立総会を開催することができました。設立にあたり、一尽力いただきました。関係者の皆様には、厚く御礼を申し上げます。

その後、今年の2月には役員会を開催し、学生時代の思い出を語り合い、楽しい雰囲気の中、今後の



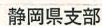
活動方針 ①特化してビヘイビア
していくこと ②当支部への理解
を卒業生に求め、大阪商人で云う
ギブアンド・テイクで接していくこ
とを確認しました。今後は、2回
目となる総会・交流会を来春の
開催に向けて、各地区や先輩、後
輩のつながり等を活用し、自宅や
会社等への訪問等も行うことで、
人でも多くの三重県出身者・就職
生に参加してもらえよう活動を
展開していきたいと考えておりま

す。まずは、今年度の卒業生に対し
て、当支部は「歓迎会」刺激会との
開催を考えております。また、時期
がまいりましたら、ご案内等させて
いただきます。

役員・会員皆様のご協力あつての
支部であり、支部長として皆様が
活動しやすいよう、微力ですが自
らサイン・テック・ビヘイビアを展開
していきます。小生65歳、老後に鞭
を打ち、土光敏夫氏の質素の哲学
を心がけ、皆様とともに人生を楽
しみながら、笑えるように頑張らな
いと思います。支部長 木俣博孝

岐阜経済大学、岐阜経済大学
新聞で聴講の

岐阜経済大学、岐阜経済大学
親和会及び岐阜経済大学校友会
主催の公開講演会が、平成24年7
月15日(日)にアクトシティ浜松で
開催されました。講師は岐阜経済
大学客員教授であり諏訪中央病
院名誉院長の鎌田實先生です。演
題は「これからの日本」若者・
命・経済が大切」であり、時宜に
適した演題でした。この講演会を開
催するにあたり、静岡新聞や中日



新聞で聴講の案内を静岡県民にしました。当日は開会の数時間前から県内各地から多数の老若男女の来場者があり、コグレスセンター31会議室は満員になりました。講演では、東日本大震災をとおして命の大切さやボランティアとして活躍する若者の姿及び経済の大切さを訴えられました。講演終了後、あちこちから「元気がいい、勇気がわいてきた」などの感想が寄せられ

きたいと思いますので皆様からのご意見をお寄せください。

新學長
石原健一

今年の2月に谷江幸雄前学長の

後を受けて、学長に就任しました。
どうぞよろしくお願いいたします。

今日の大学、特に私立大学を取り巻く環境は非常に厳しく、入学定員を充足できない大学、帰属収支差額比率がマイナスの大学が全国で4割以上も存在します。さらに、現在120万人前後で推移している18歳人口が、2018年度以降減少に転じ、2023年度には107万人と予想されています。

（大学の「2018年問題」）。
 本学では現在、この「2018年問題」に対応すべく「岐阜経済大学50周年ビジョン」に基づき第2期中期計画を策定し、財政健全化は

経営学部 中村 共

(学生募集)



1979
学院経営
単位取
人事・

経営学部 竹内 治彦 学長に就
営管理論

1989
大学院社
課程単位
(地)

私たち第二部第二回生は卒業してのお話や学歌(CD)まで準備い

て40年になります。昨年10月、4
回目となる同窓会を開催しました。
むことができました。

當時は職を求めて全国から多くの方が大垣へ働きに来ておりました。大垣に初めて大学が設立されたというところで、私たちがほとんどの者は働きながらでしたが、大学進学という夢が叶い、喜びが計り知れません。故郷、年輪もつづら、すでに古希を過ぎた者もかなりおります。

新潟、徳島から来てくれた仲間や卒業後初めての参加となる学生おりました。参加者全員より生時代から卒業後の現状までを話し、もらい大変懐かし、さらにお酒が入るとあちらこちらから歓声が上がり、時間のたつのも忘れ、楽しい雰囲気の中で会が進行していき、最後には次回3年後の再会を約束し、大いに盛り上がりました。

今回の同窓会には、ご多忙のところ浅野照章副理事長にご臨席いただきました。設立当時や現況について、

を結束して、名残惜しくも閉会となりました。

72年3月卒業 竹内 宜雄

2011年4月1日から2012年3月31日まで

収入の部			
科 目	予算額	決算額	差 異
会費収入	5,160,000	5,160,000	0
利息収入	30,000	10,872	19,128
助成金収入	0	0	0
雑収入	0	0	0
特種事業積立預金繰出収入	10,000,000	10,000,000	0
前年度繰越金	8,679,248	8,679,248	0
収入の部合計	23,869,248	23,850,120	19,128
支出の部			
科 目	予算額	決算額	差 異
校友会総会費	2,260,000	2,253,846	6,154
校友会報費発行費	2,500,000	2,029,539	470,461
卒業記念費金	2,500,000	2,224,345	275,655
支部有成功助成費	1,600,000	802,351	797,649
役員会費	900,000	686,591	213,409
卒業記念品費	550,000	403,725	146,275
母校後援事業費	1,000,000	0	1,000,000
特別事業積立金	0	0	0
インターネット事業費	200,000	180,210	19,790
40周年記念事業費	7,630,000	7,613,489	16,511
雑支出	(840)	840	0
予備費	(4,728,408)	0	4,728,408
次年度繰越金	-	7,655,184	△7,655,184
支出の部合計	23,869,248	23,850,120	19,128

(注記) 予備費使用額の内訳	
雑支出(特別事業積立預金繰出手数料)	840円

収入の部	予算額	前年度予算額	比較増減	摘要
会費収入	5,220,000	5,160,000	60,000	261名×20,000円
利息収入	30,000	30,000	0	
助成金収入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
特別事業積立額金繰出収入	0	10,000,000	△10,000,000	
前年度繰越金	7,655,184	8,679,248	△1,024,064	
収入の部合計	12,905,184	23,869,248	△10,964,064	
支出の部				
科 目	予算額	前年度予算額	比較増減	摘要
校友会総会費	0	2,260,000	△2,260,000	
校友会報発行費	2,200,000	2,500,000	△300,000	
卒業祝会費	2,300,000	2,500,000	△200,000	
支部育成助成費	2,000,000	1,600,000	400,000	
役員会費	800,000	900,000	△100,000	
卒業記念品費	550,000	550,000	0	
母校後援事業費	1,000,000	1,000,000	0	
特別事業積立金	2,000,000	0	2,000,000	
インターネット事業費	200,000	200,000	0	
40周年記念事業費	0	7,630,000	△7,630,000	
予備費	1,855,184	4,729,248	△2,874,064	
支出の部合計	12,905,184	23,869,248	△10,964,064	

2012年度校友会幹事会開催

5月20日(日)、2012年度の校友会定例幹事会が大垣市内「日本料理 天近」において開催されました。当日は、谷江長、浅野副理事長、説田副理事長、高橋経済学部長、野松経営学部長、安田校友会長をはじめ多数の幹事の皆様に出席いただきました。

議事は1日、まずは新卒業生幹事として山形昇氏(経済学部経済学科)、藤井奈央氏(経済学部臨床福祉コミュニティ学科)、斎藤祐介氏(経営学部スポーツ経営学科)、吉池達氏(経営学部情報メディア学科)、土屋敏浩氏(大学院経営学研究科修士課程)を選出いたしました。

続いて、校友会創設40周年記念事業を含む2011年度事業報告及び同決算について、校友会事務を担当する大学事務局から説明がありました。特に2011年11月20日(日)に開催された「校友会創設40周年記念式典・校友会総会と

の同日開催」について、一年半以上も前から準備に取り組んできた各部会(企画・広報事業部会、組織部会)の活動と母校興隆に關する提言書」が安田校友会長から谷江会長へ無事手交されたことへの報告等を踏まえ、全体の振り返りを行いました。監事からは適正な査計処理であったことを認める監報告がなされました。

最後に2012年4月、新たに三重県支部が発足し、支部が岐阜・静岡・滋賀とあわせて4県になったことに伴い、今後の各県ごとの組織化を今後さらに活発にしていくなため、県支部役員の旅費助成に関する申し合わせ事項と2011年度事業計画案ならびに同期予算案について提案説明があり、積極的な質疑応答・意見が交わられた後、これらを承認いたしました。

なお、2011年度決算2012年度予算は次のとおりとなっております。

2012年度校反会幹事会開催

**校友会創設40周年
記念植樹を実施しました**

昨年度実施した「校友会創設40周年記念事業」の一環として2012年2月3日、ハリウッド内3号館と7号館を結ぶ園路沿いに「冬青(ソヨゴ)」の植樹を行いました。



